西暦	中国	朝鮮	日本
		44 韓人、後漢の冊封を受く	
50			57 倭奴国王、後漢に朝貢、印綬を賜る
100	後漢		108 倭国王、後漢に生口百六十人を献ず
150	(25~220)		
200			
	221 蜀 263 / 220 魏 265 / 222 呉 280	238 魏、朝鮮半島へ侵攻、韓族首長に邑君・邑長を賜う	239 邪馬台国の女王卑弥呼、魏へ使者を派遣、親魏倭王とせらる
250		(馬韓・弁韓・辰韓)	
	西晋		266 倭の女王壹与、晋へ使者を派遣
300		高句麗、この頃から朝鮮半島へ勢力拡大 慕容燕との緊張関係	
	316 (五胡十六国) 352 前燕 370 / 317 東晋	336 高句麗、東晋に朝貢	
350		346 百済おこる 355 高句麗、前燕の冊封を受く　356 新羅おこる 369 百済、高句麗に大勝、統一成る 372 百済、東晋に朝貢、冊封を受く	この頃、百済の使者、来日 369 新羅を破り、朝鮮半島南端を支配（任那の成立）
		377 高句麗・新羅など、前秦に朝貢	この頃以来、百済・新羅を服従せしむ（好太王碑）
400		391 高句麗（好太王）、年号を立つ ／ 396 百済・倭の連合軍を破る 400 高句麗、新羅に援軍　404 高句麗、倭軍を破る	399 倭軍、百済とともに新羅を討つ 404 倭軍、帯方郡の故地にて高句麗に大敗
		413 高句麗、東晋に朝貢、冊封を受く	
	439 北魏 (386~534) / 宋 420	420 高句麗王・百済王、宋より冊封を受く	421 倭国讃、初めて南朝に朝貢、除授を賜う（安東将軍・倭国王）
450		435 高句麗、北魏に朝貢、冊封を受く	438 倭王珍、宋より安東将軍・倭国王に任ぜらる 443 倭王済、宋より安東将軍・倭国王に任ぜらる 451 倭王済、使持節・都督倭新羅任那加羅秦韓慕韓六国諸軍事を加えらる 462 倭王興、宋より安東将軍、倭国王に任ぜらる
		472 百済、北魏に使者を派遣、高句麗の無道を訴ふ	478 倭王武、安東大将軍に昇格
	479 斉 502	480 （高句麗王・百済王、南斉の冊封を受く）	479 （倭王武、南斉より鎮東大将軍に任ぜらる）
500		502 （高句麗王・百済王、梁の冊封を受く）　新羅、北魏に朝貢	502 （梁、倭王を征東大将軍に任命） この頃、百済より五経博士の派遣
	西魏 東魏 / 梁 557	520 新羅、律令を頒布 521 新羅、百済とともに梁に朝貢 536 新羅、年号を立つ	538　百済より仏像・経論を送らる
550	北周 北斉 / 陳 589	541 梁の仏経工匠画史、百済へ 565 新羅、北斉の冊封を受く	562 新羅により任那の日本府滅亡
		570 百済、北斉の冊封を受く 577 高句麗、北周の冊封を受く	577　百済より経論・造仏工・造寺工を送らる
	隋 (581~618)	581 高句麗、百済、隋に朝貢、冊封を受く 594 新羅、隋に朝貢、冊封を受く	595　高句麗僧慧慈、聖徳太子の師として来日
600		607 百済、隋の高句麗出兵に援軍を申し出る 612 隋、以降三年間に渡って高句麗出兵	600 隋に遣使 ／ 603 冠位十二階の制定、翌年、憲法十七条の制定 607 遣隋使派遣（小野妹子）　翌年、隋の使者裴世清、来日
	唐 (618~907)	624 高句麗王・百済王・新羅王、唐の冊封を受く	623 隋への留学生ら,新羅の使者とともに帰国、唐に学ぶべきを言上
		642 高句麗・百済、新羅を侵略　新羅、唐へ援軍を依頼 645 唐、高句麗征伐を始む	630 第一次遣唐使　翌々年、唐の使者高表仁、来日 645 大化の改新 ／ 648 改新政府、新羅の使者に託して唐へ表を奉ず
650		660 唐・新羅軍、百済へ侵入 663 百済、滅亡 668 高句麗、滅亡	653 第二次遣唐使　翌年、第三次遣唐使　唐より新羅への援軍要請 659 第四次遣唐使 663 百済へ出兵、唐・新羅軍に大敗（白村江の戦い） ／ 665 第五次遣唐使 668 新羅の使者、来日　翌年、再来日 ／ 669 第六次遣唐使
		676 新羅、朝鮮半島を統一	
		696 渤海おこる	
700			701 大宝律令成る　翌年、第七次遣唐使

堀敏一『中国と古代東アジア世界　中華的世界と諸民族』（岩波書店、1993 年）、同『東アジアのなかの古代日本』（研文出版、1998 年）を参照。